

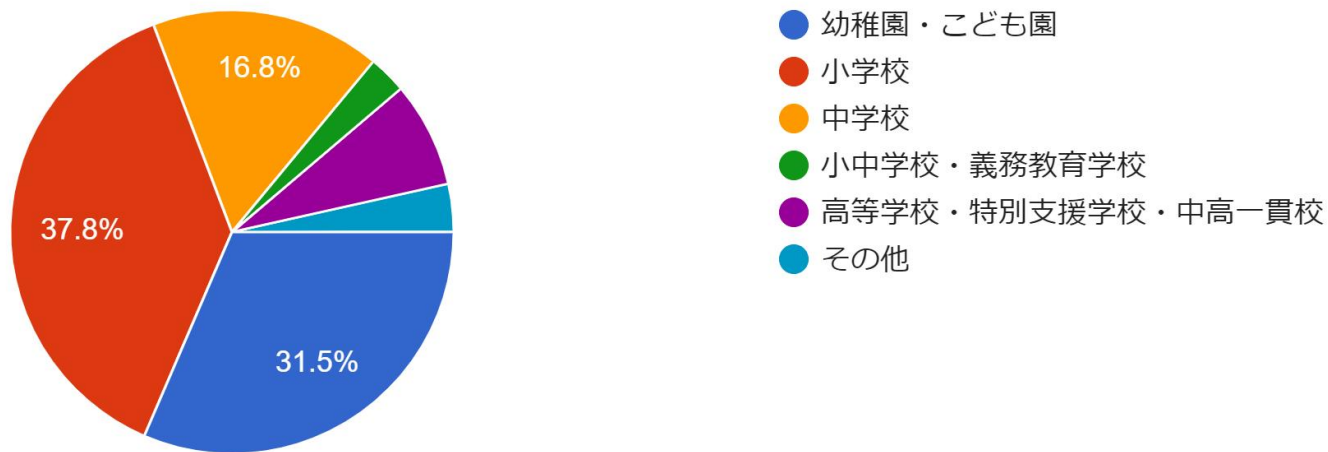
2022 奈良教弘 教育振興事業 助成校担当者アンケート

花いっぱいプレゼント

助成校数 325校園 回答数143校園(44%)

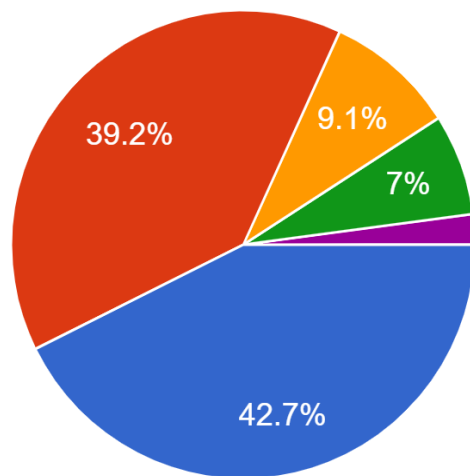
学校の種別をお選びください。

143 件の回答



受付業務を確実かつ効率的に行うため、今年度よりWebでの申請を始めましたが、いかがでしたか。

143 件の回答



- 特に問題なく申請できた
- おおむね問題なく申請できた
- 少し時間がかかった
- かなり時間がかかった
- Webでは申請できなかった

特に問題ない・おおむね問題ない 81.9%

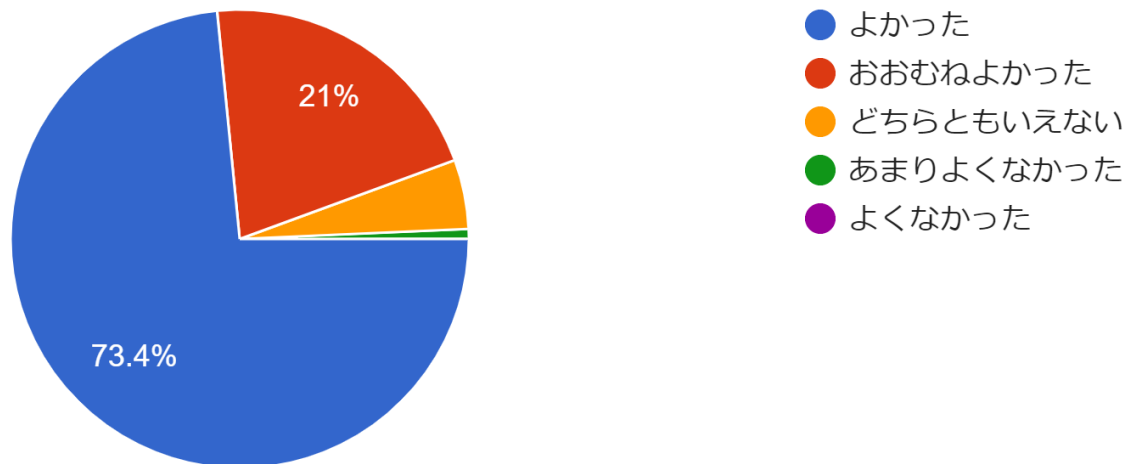
少し時間がかかった・かなり時間がかかった 16.1%

「少し時間がかかった」「かなり時間がかかった」と答えられた方、どんなところに時間がかかりましたか。

- 学校の情報セキュリティの問題
- 入力途中での保存ができないため、申請書作成中に席を外すことがあり再入力をしたくない場面がありました。今回のようにGoogleフォームでアドレス入れた形での登録できるようにしていただきたいです。WEBベースでの入力では新任の教頭が担当の場合、時間がかかってしまいます。
- セキュリティが強く、校務系から教育系に切り替えてサイトに行かないといけないこと、最後まで回答して送信したがそこでエラーが何度もかかり、また一番初めから全てやり直さなければならないことが何度となくあったこと、今まで文字数の指定等がなかったが、たくさんの文字数が指定されていて、文書作成に時間がかかったこと…など、大変困った。パソコンが苦手な者にとっては全く効率的ではない。できれば紙媒体のみでも可にいただきたい。
- 起案が必要になるので、少し時間がかかります。
- 紙の申請も必要なところ
- 公務ネットワークのセキュリティのため
- 申請方法に慣れないから
- 報告等の文の文字数が多い。また、奈良市では校務パソコンがインターネットに接続されておらず、ファイルの移動等に時間がかかった。
- 「活動の概要」の入力量が多く、かなり時間がかかった。
- iPadでは上手く表示できず、報告文書を印刷できなかった。
- 場所を探すのに時間がかかった
- 送信手前で進めず非常に苦労した。何度もやり直した。
- 園のネットワーク環境が複雑で、自身が理解し、送付するまでに時間がかかりました。また今年度のHPを開けるまでに時間を要し、開いてもどのようにすればよいのか分かりにくく、申請するまでに何度かやり直しをしました。
- 字数が決まっていたりする部分です。
- 校務PCがインターネット接続環境から分離されているため、データの移動に少々手間がかかります
- 記述での回答箇所が多数あったので、時間がかかりました。
- WEB打ち込みまではスムーズにいけたが、送信が上手くできずに何度も何日もかけて行ったため
- 入力については、項目がわかりやすくなり書きやすかった。しかし、送信時にうまく送信できなかったので何度か作業を繰り返した。
- 他業務の締め切りや行事と重なり、時間がかかった
- 園からはセキュリティーの関係でwebで申請できなかったため、自宅からwebで申請した為
- 校務支援システムが導入され、ダウンロードできるPCが限られているため
- ブラウザによってはサイトにうまくつながらなかった。また、活動内容の文の求められる文字数が多いため。
- 学校にインターネットに接続されている端末が一台しかなく、しかしそのパソコンがプリンターに接続されていないのでプリントアウトできないという事態が起きました。申し込みフォームがエクセル等であればデータをusb等に保存して別のパソコンで出力するというのもできたのですがそれもできず。最終的にスクショを保存し別のパソコンでプリントアウトしましたがぼやけてしまい、受け付けていただけでよかったと安堵するような仕上がりでした。学校としては申し込みはどちらか一つを選ぶ方がありがたいです。

贈呈にあたっては、教弘担当者が、各学校園を訪問させていただきましたが、いかがでしたか。

143 件の回答



よかった・おおむねよかった

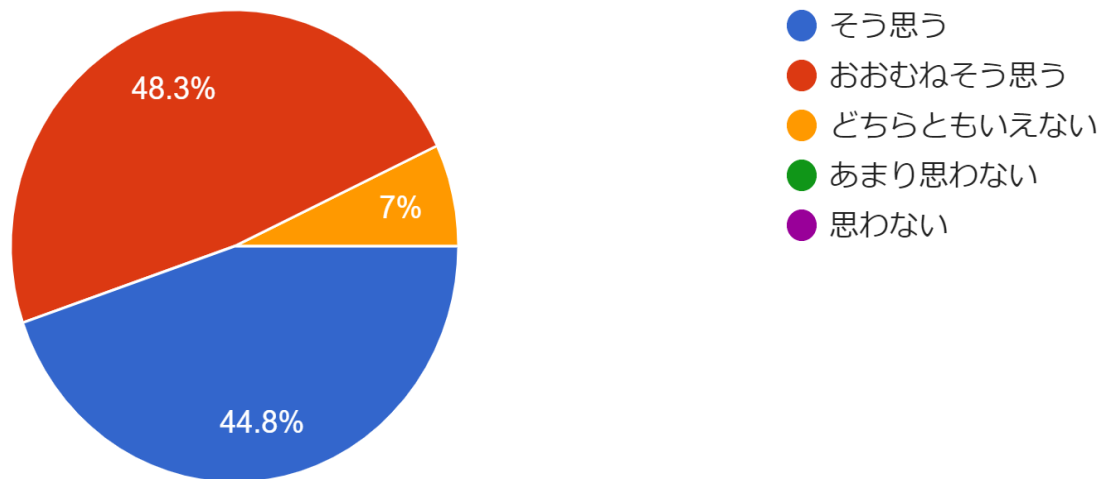
95.5%

「あまりよくなかった」「よくなかった」と答えられた方、どんなところがよくありませんでしたか。

- 訪問の日時をあらかじめご連絡頂けるとありがたいです。
- 説明が早口で、報告文書が12月28日から15日に変更になったことについて丁寧な説明がなかった。

花いっぱいプレゼントを通じて、教職員の方々に、奈良教弘の趣旨(目的・事業)についての理解が進んだと思われますか。

143 件の回答

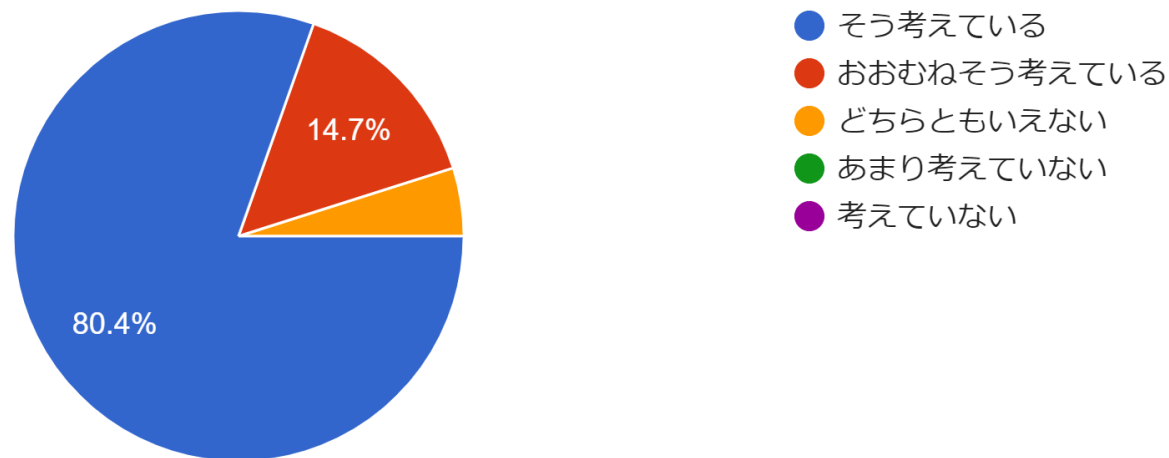


そう思う・おおむねそう思う

93.1%

次年度も花いっぱいプレゼントに申請したいと考えておられますか。

143 件の回答



そう考えている・おおむねそう考えている

94.7%

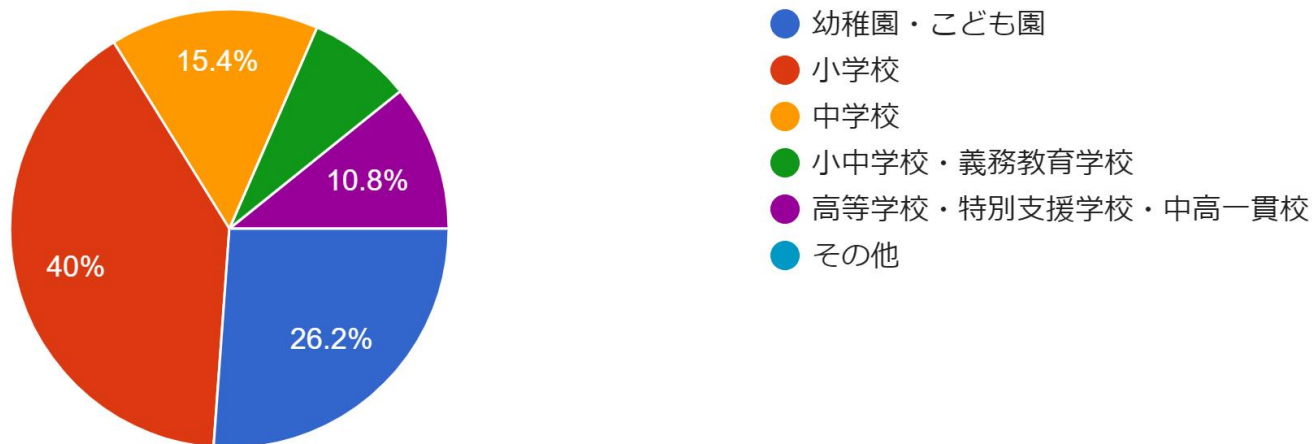
2022 奈良教弘 教育振興事業 助成校担当者アンケート

学校教育研究活動助成

助成校数77校園 回答数65校園(84.4%)

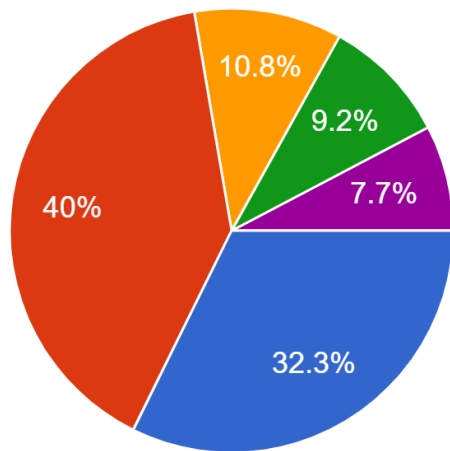
学校の種別をお選びください。

65件の回答



受付業務を確実にかつ効率的に行うため、今年度よりWebでの申請を始めましたが、いかがでしたか。

65件の回答



- 特になんかなく申請できた
- おおむねなんかなく申請できた
- 少し時間がかかった
- かなり時間がかかった
- Webでは申請できなかった

特になんかなく・おおむねなんかなく 72.3%

少し時間がかかった・かなり時間がかかった 20.0%

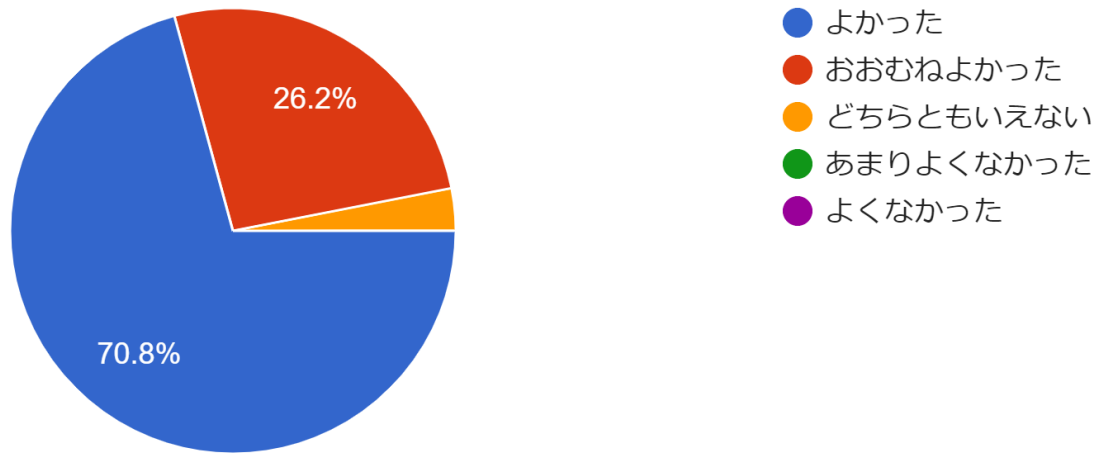
Webでは申請できなかった 7.7%

「少し時間がかかった」「かなり時間がかかった」と答えられた方、どんなところに時間がかかりましたか。

- 今年度は、Webと紙媒体の両方の提出でしたが、紙媒体を提出するにあたり、プリントアウトする画面が自動的に変わるのが分からず時間をとりました。最終的には正式なものを再度送りなおしたと記憶しています。
- 校務用のパソコンからは申請ができなかったので、手間取った。
- 入力内容が作業途中でデータ保存できず、最初からやり直すことがあったため。
- 送信ボタンをおしても送信できないトラブルに悩まされた。
- セキュリティーが厳しいため
- エクセルファイルがホームページからスムーズにダウンロードすることができませんでした。
- 学校内のセキュリティの問題
- 学校の校務用のパソコンからは申請が通らず、教育系のパソコンからの申請が必要だった。
- iPadでの入力がしにくい。タイトルバーが邪魔になって入力しにくい。入力内容をデータで保管できない。
- ログインの仕方に手間取った。
- 園でのPCでは、対応できなかったため、自宅でおこなった。
- 本市のセキュリティ対策
- pcに慣れてないので、開いたり送ったりするだけでも時間がかかった。
- 送信をスムーズに完了できなかった。

助成金の贈呈にあたっては、教弘担当者・ジブラルタ生命LCが、各学校園を訪問し、贈呈式および事業説明会を行いました。いかがでしたか。

65 件の回答



よかった・おおむねよかった

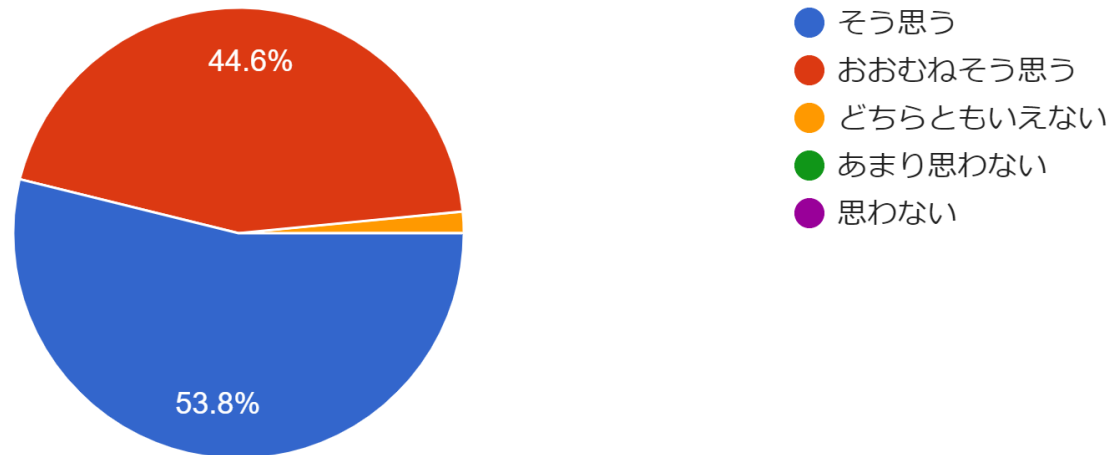
97.0%

「あまりよくなかった」「よくなかった」と答えられた方、その理由をお書きください。

- 会議の時間を取られる

学校教育研究活動助成を通じて、教職員の方々に、奈良教弘の趣旨(目的・事業)についての理解が進んだと思われますか。

65件の回答

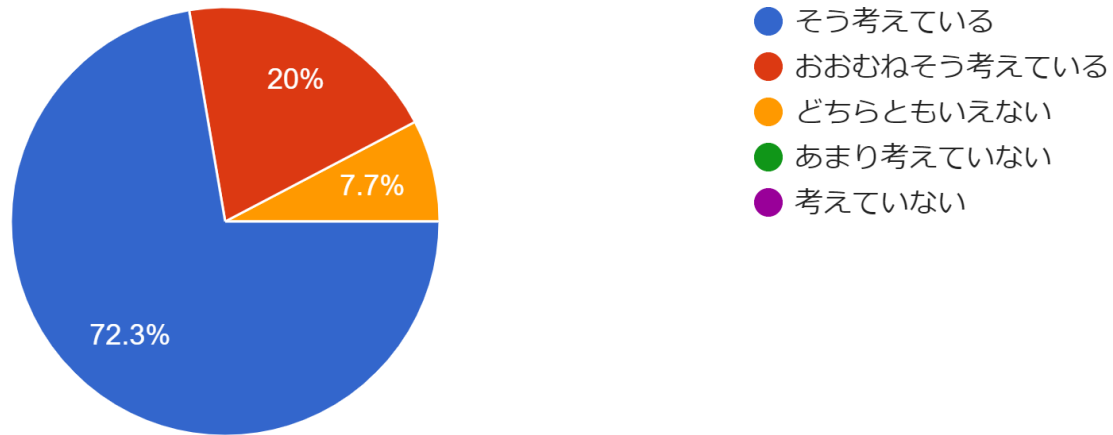


そう思う・おおむねそう思う

98.4%

助成の採否に関わらず、次年度も学校教育研究助成に申請したいと考えておられますか。

65 件の回答



そう考えている・おおむねそう考えている

92.3%

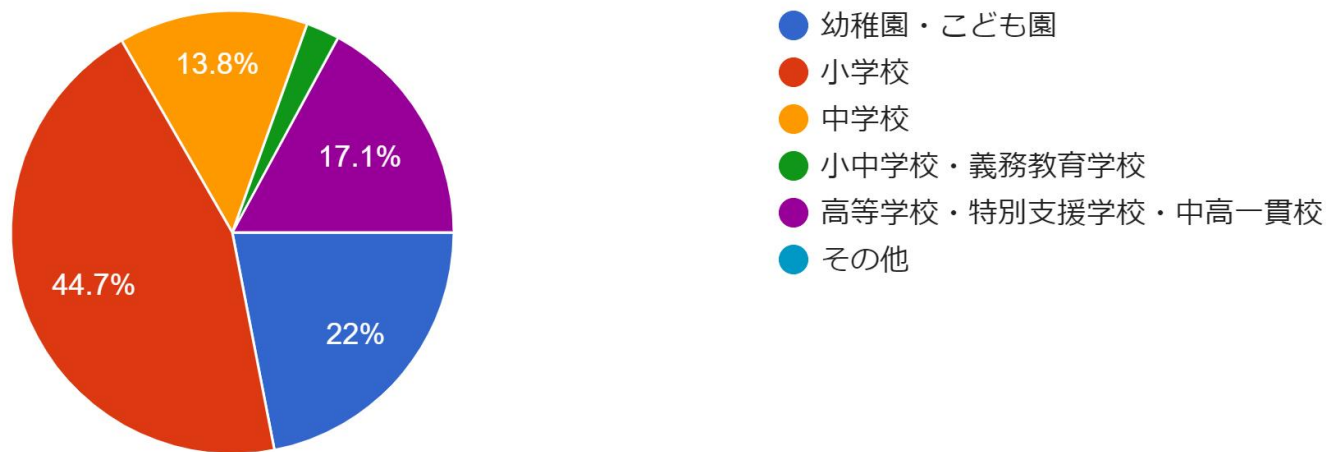
2022 奈良教弘 教育振興事業 助成校担当者アンケート

奈良教弘文庫

助成校数 137校園 回答数123校園(89.8%)

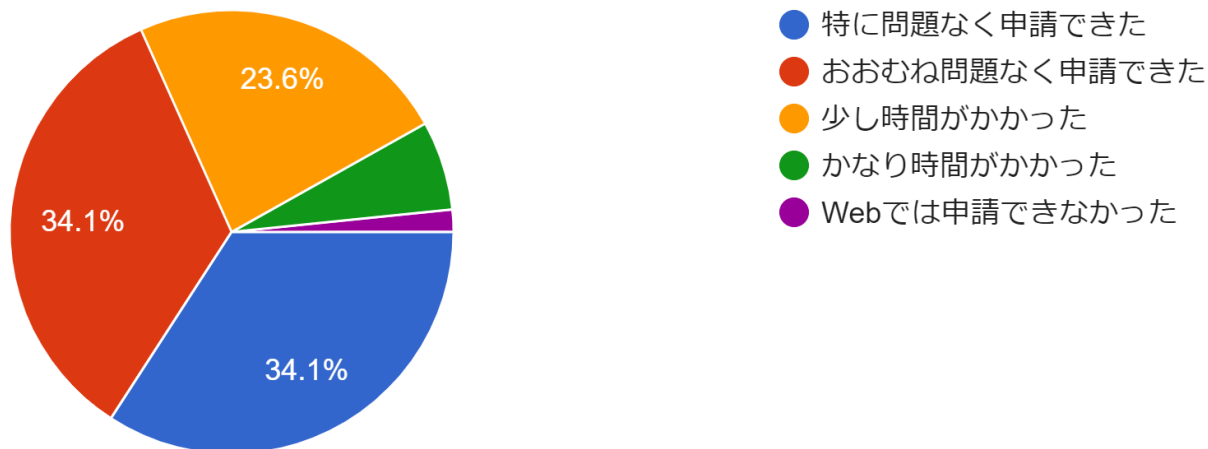
学校の種別をお選びください。

123 件の回答



受付業務を確実かつ効率的に行うため、今年度よりWebでの申請を始めましたが、いかがでしたか。

123 件の回答



特になし問題ない・おおむね問題ない 68.2%

少し時間がかかった・かなり時間がかかった 30.1%

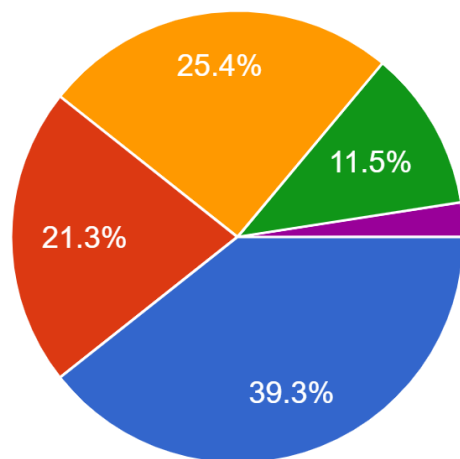
「少し時間がかかった」「かなり時間がかかった」と答えられた方、どんなところに時間がかかりましたか。

- 園で申請しようといったん入力したがWEBで送信ができず、自宅のパソコンで入力しなおして申請したため
- 本校ネット環境の問題で送信に手間取った。
- 学校のシステムにより外部へのメール(資料を添付する)を送信するのが大変。
- 学校のパソコンのセキュリティーの関係なのかわからないのですが、送信等が、スムーズにいかなかった。
- 印刷が最後にできることが分からず、何度もする羽目になった。字数制限が600～800字とあるにもかかわらず、何文字書いたのか把握できにくかった。図書名と値段をうつのに時間がかかった。活動名が20字だったので、自由に書かせてもらえたら嬉しい。
- 書類作成の際に文字数の制限
- 申請送信前に、申請内容を印刷して起案をしないといけないので、どの時点で送信になってしまうのかわからず、印刷がうまくいなくて、時間がかかりました。
- 奈良市のシステム上、校務系と教育系があり、ウェブでするには教育系しか無理なので、資料の受け渡しに手間がかかることや様式がダウンロードできなかったりしたため。
- 昨年度に比べ、活動の概要についての記入事項と文字数が増えていたところ
- 昨年度までと変わり、文書入力が増えたこと、また字数制限があり、思うように入力できなかったところ。
- 書類とWeb両方をするため作業が増えた。申請後、確認メールが学校宛てに送られたりと、確認に手間取った。
- ワードプロソフト(Word)とWeb申請時の字数の数え方が異なり、字数を削減するのに時間を要した
- セキュリティーが厳しいため
- 一度エラーが起こり、再度の入力をする必要が生じた。
- 自分のパソコンからエクセルのデータが開かず、他の学校パソコンから開いた。
- 入力作業は主に図書室のパソコンで行いますが、図書室のパソコンではメールの送受信できず、メールが使える学校のパソコンは個人のUSBが使えないので。
- 入力必須文字数の確認のため、直接入力では対応が十分できず、別途資料を作成し対応する必要がありました。また、入力途中で保存することができないため、何度も再入力を行う必要がありました。今回のアンケートのようにGoogleフォームでの入力であればe-netアドレスにより保存が可能となるので、この形の方がありがたいです。担当が新任の教頭の場合 春の書類作成の忙しさの中になるのでご検討いただければ幸いです。WEBベースでの入力フォームはかなり使いづらいです。

- 申請内容は、校長先生までの決裁を受ける必要がある。Web申請は作成したあと、保存等ができなかったため、一度作成して、決裁のためにプリントアウトして送信せずに終了し、決裁後、再度最初から入力して送信したため。
- 活動の概要を作成するのに、時間がかかりました。忙しい時期に文字数の制限など、もう少し緩和されてもよいのではと思います。
- 最初の申し込みウエブが一回閉じたら一からやり直した。保存ができるようにしてほしい。助成は大変ありがたいと感じているが、報告書等手間や負担が少しでも軽くなるように来年度は検討してください。担当の者の負担時間が多いと思います。
- 写真データを園のPCに取り込んで園外へ送信することに規制があるため
- 昨年度と申請方法が異なったため、申請内容を作成するにあたり、確認が必要だった。
- 実施計画を打ち込む欄があり、字数が決まっていたので、一度Wordで作った文書をもう一度打ち込まないといけず、大変だった。
- 途中で保存できないので作業が止まると一から答えなくてはいけなかった。
- 別の媒体で…などの記述があり申請ができなかった。
- あらかじめ購入予定図書を一覧にするところ。
- 送信や資料のダウンロードが、何度も「やり直し」になった。職場のPCに詳しい職員に手伝ってもらったが、それでも時間を要した。勤務に支障が生じた。
- 園のパソコンで文書を作成したがセキュリティの関係なのか送信ができず、何度もやり直した。結局、自宅で文書を再度作成して送信したので、かなり時間がかかった。
- 園のパソコンのセキュリティの関係で接続がうまくいかず時間がかかった。
- エッジからグーグルに変えた方がいいと知らなかった。グーグルにしてからスムーズにほぼできた
- 市のセキュリティが強いのか、送信できない事態が続いた。
- 申請書類のダウンロードが校務支援パソコンではできなかった。
- ■様式に入力(印刷)→起案→申請の流れで行う。WEBでの申請後に整った様式が表示されるのが分からなかった。■昨年度に比べ、申請までの期間と申請に関わる資料作成の項目内容や字数制限が思いのほか負担となった。これで、助成金を受け取れなかった場合、つらいと思った。
- 橿原市校務支援パソコンやえe-net.nara.jpは外部とのやり取りが困難である。
- 園のパソコンのセキュリティー上の問題で作成や送信に手間どったため
- Webでの申し込み慣れていないことと、申し込みのサイトに行きつくところでもたついてしまった。

申請にあたっては、助成後の図書購入を円滑に進めていただくため、申請時に購入予定図書一覧の提出をお願いしましたが、いかがでしたか。

122 件の回答



- よかった (特に問題はなかった)
- おおむねよかった
- どちらともいえない
- あまりよくなかった
- よくなかった

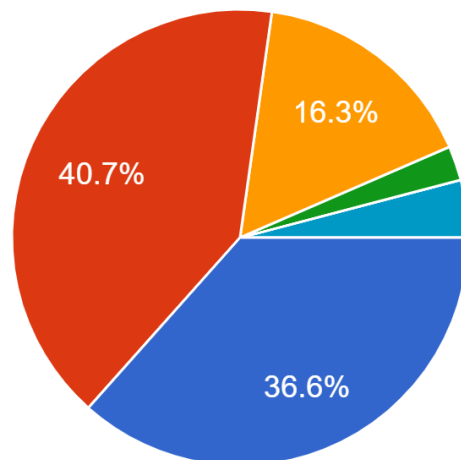
よかった・おおむねよかった	60.6%
どちらともいえない	25.4%
あまりよくなかった・よくなかった	14.0%

「あまりよくなかった」「よくなかった」と答えられた方、その理由をお書きください。

- ゆっくりと本を選びたかった
- 選定と購入の期間ロスがあり、購入する時に最新本があっても買えない。
- 申請までの間に本の選定をするのは時間が短く大変だった。
- 申請してから購入するまでに時間があつたので、同じテーマの本なのですが、この本よりこちらの本のほうがよかつたのだろうか、など後悔したからです。
- 子どもの実態を把握し時間をかけて選書したいため
- 手間がかかる。
- 購入予定と実際購入する図書が違って良いということなら、申請時の提出は不要だとありがたいです。図書の選定には司書と相談したり、時間がかかるので、申請時に急いで用意するのは大変でした。助成が決まってから、会議で提案し、ゆっくり選定できたらありがたいです。
- 本市の選書会が夏にあるため、そこで購入希望と所が決まるため。
- 普段学校図書を購入するときは、教育委員会を通して契約している会社のHPからのみ選書をするので、現金決済で古本屋や書店で実際に目で見て購入できるこの機会はとてもありがたいです。しかし、どんな本がお店にあるのかは行ってみないとわからないので、申請時に一覧を提出するのは、とても難しいと感じました。
- 結局、実際に買ったものとは、変わったので二度手間になっている。日々忙しいので、できたら、購入後の報告だけにしてほしい。
- 「おおむねよかつた」のですが、春に選書した書籍を助成決定後発注した時に絶版・品切れとなつていた書籍がありました。出版業界が製本数も絞り、本のライフサイクルが短くなつている中、購入できなくなつた書籍が出たのは残念でした
- 購入希望図書を選ぶ時間がなかつたので忙しかつた。実際に選んでいると希望図書が変わつた。
- 結局購入時の本は、違うのになるのであれば購入予定図書一覧は、なくてもよいのではと思います。様式7で提出するので、そちらに一本化していただくとありがたいです。
- 変更を認めていただく前提で申請図書を提出できるならば、おおむね良いと思います。
- 時間がかかりすぎて負担が大きい
- 同じものを購入できればいいが、購入できないものもあり、打ち直すことになつたため
- 選書に掛ける時間が短くなる。
- 買う図書がまだちゃんと決めてなかつたので、時間がかかり、かつ実際に買ったものと違つた
- 予定と大幅に変わつてしまつたため
- 申請の時点では、購入図書を決めにくいので。

助成金の贈呈にあたっては、教弘担当者・ジブラルタ生命LCが、各学校園を訪問し、贈呈式および事業説明会を行いました。いかがでしたか。

123 件の回答



- よかった
- おおむねよかった
- どちらともいえない
- あまりよくなかった
- よくなかった
- すでに学校教育研究活動助成にて、贈呈式と事業説明会を受けた

よかった・おおむねよかった 77.3%

どちらともいえない 16.3%

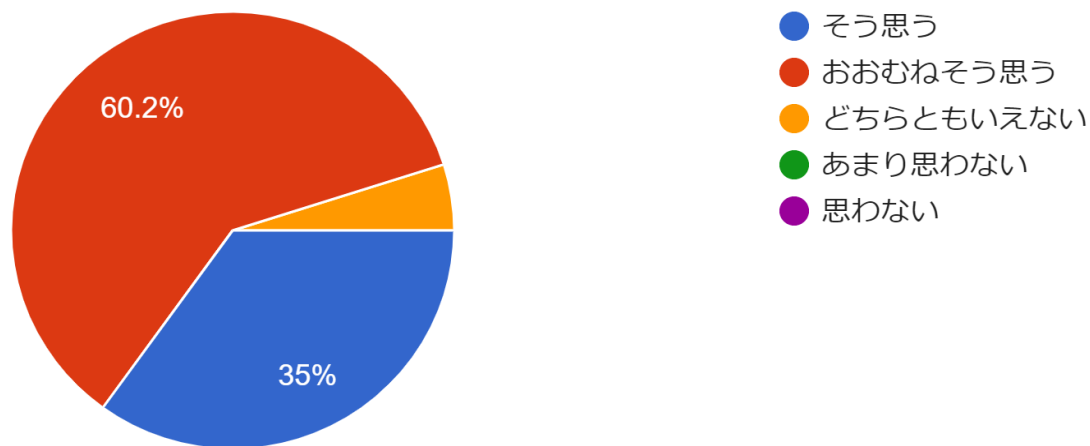
あまりよくなかった・よくなかった 2.4%

「あまりよくなかった」「よくなかった」と答えられた方、その理由をお書きください。

- わざわざ時間をとらなくてもよいのではないと思われる
- 職員全員を集める必要があるのかと思った。
- 昨年度も事業説明会を受けたので、同じ内容を2年連続で、さらに会議が詰まってる中での実施だったので、少し大変でした。
- 事業説明について、本校は公立さんと違って、「教弘文化」が伝統としてあまりないので、唐突感は否めなかったと思います。ゆっくりと本を選びたかった

奈良教弘文庫助成を通じて、教職員の方々に、奈良教弘の趣旨(目的・事業)についての理解が進んだと思われますか。

123 件の回答

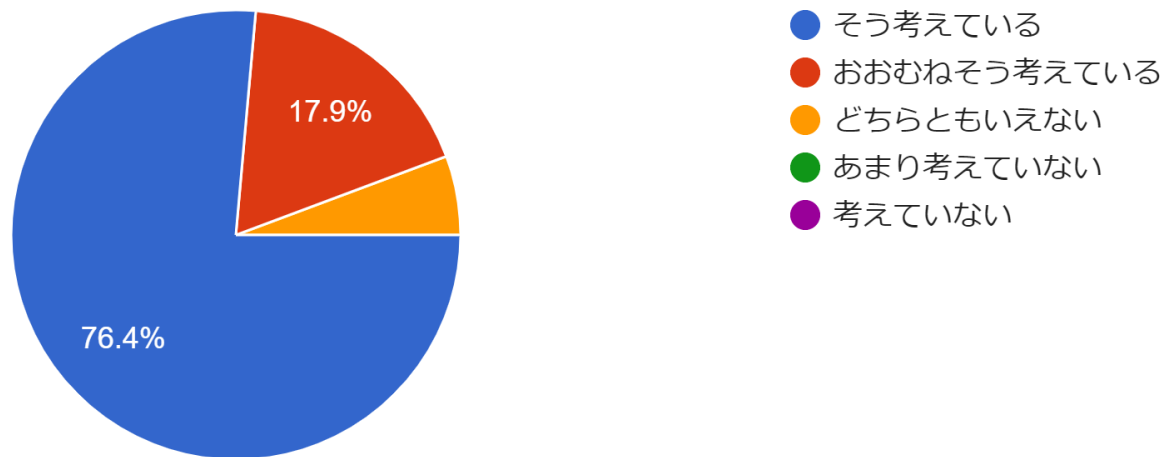


そう思う・おおむねそう思う

95.2%

助成の採否に関わらず、次年度も奈良教弘文庫助成に申請したいと考えておられますか。

123 件の回答



そう考えている・おおむねそう考えている

94.3%